

# 集団的自衛権行使の容認

歴代長官異議あり  
憲法解釈の  
信頼損なう

安倍内閣が解釈改憲で強行しようとしている「集団的自衛権」行使の容認について、政府の憲法解釈を国会で答弁してきた内閣法制局長官経験者から批判や異論が相次いでいます。世論調査で国民の多数が「集団的自衛権」行使容認に反対しているのに加え、与党内からの異論にも直面し、安倍内閣は深刻な矛盾に直面しています。

「集団的自衛権」は、「自衛」とは無関係の概念で海外での武力行使を可能とするもの。大國が侵略や軍事介入する際の口実に使われてきました。歴代政府もその行使は「憲法上許されない」としてきました。

安倍内閣はこれを可能にするため、憲法解釈を変更したうえで安全保障基本法で裏付けようとしています。憲法研究者の小沢隆一さんは「解釈改憲は裏口入学のようなもの。そのうえ安全保障基本法をつくって集団的自衛権を行使できるようにしようというのはいわば立法クーデターです」と指摘します。

この解釈改憲に異論を表明したのが、阪田雅裕（まさひろ）、山本庸幸（つねゆき）、宮崎礼彦（れいいち）の法制局長官経験者の3氏。この間の記者会見や新聞社のインタビューなどで解釈変更は「難しい」「できない」と明言しています。

阪田氏は第2次・第3次小泉内閣時の長官。「朝日」（9日付）で「集団的自衛権の行使とは海外で戦闘に加わるということだ」と指摘。「集団的自衛権の問題は日本国憲法の三大原理の一つ、平和主義に関わる。…（国会の憲法論議の）蓄積を無視し、今までの全部間違っていたということがあるといいのか」と語っています。

今年8月まで長官だった山本氏（最高裁判事）も20日の会見で「今の憲法の下で半世紀以上議論され、維持されてきた憲法解釈であり、私自身は難しいと思っている」と発言。第1次安倍内閣時の長官だった宮崎氏は時事通信のインタビュー（27日）で「解釈変更は法律上」ものすごく、根本的な不安定さ、脆弱（ぜいじゃく）性が残る。やめたほうがいいというか、できない」と語っています。

海外の法制機関に詳しい鹿児島大の横大道聡（よこだいどうさとし）准教授は「仮に法制局が安倍首相のいいなりに憲法解釈の変更を認めてしまえば、憲法解釈の信頼性が根本から失われてしまうので、容易にのめる話ではありません」と指摘します。

内閣法制局 内閣に置かれ、閣議にはかる法律案や政令案、条約案などの審査や法令の解釈を行います。また、法律問題について首相らに意見を述べることや任務としています。その長が内閣法制局長官です。

2013年8月30日(金)

安倍政権が狙う  
「秘密保全法案」  
企業契約者も罰則対象  
懲役最長10年

安倍政権が秋の臨時国会に提出する秘密保全法案で、安全保障や外交、治安（警察）など国家機密（特定秘密）を漏えいした場合の罰則の適用対象に、一般公務員だけでなく閣僚や副大臣、政務官の政務三役や軍事産業などの民間企業の契約者も検討していることがわかりました。同法案は、「特定秘密」の漏えい行為（過失を含む）や情報取得行為とその未遂（共謀、教唆（そそのかし）、扇動など）を行った者を懲役10年以下の厳罰に処すもの。「漏えい」がわが国の安全に著しく支障を与える恐れがあるものを「特定秘密」に指定。対象として「防衛」「外交」「外国の利益を図る目的の安全脅威活動の防止」「テロ活動の防止」が列挙されています。「特定秘密」の取扱者は、犯罪歴や渡航

歴などを調べる「適性評価」で認められた行政機関や都道府県警の職員、軍事産業などの契約業者の役員。各省庁の閣僚や副大臣、長官、内閣官房副長官、政務官らは「適性評価」を経ずに「特定秘密」を扱いますが、機密を漏えいした場合に罰則が適用されます。

同法案は、2007年の「日米軍事情報包括保護協定」（GSO MIA）にもとづき、米軍などと軍事情報を共有し管理することが目的。軍事情報を秘密にする日本の国内法を整備するもので、武器輸出解禁や集団的自衛権の行使などと連動しています。

時の政府の都合によってジャーナリストや国民の知る権利、報道の自由など基本的な権利が弾圧される恐れがあるため、日本弁護士連合会、自由法曹団、全労連、日本国民救援会、日本マスコミ文化情報労組会議（MIC）、日本ジャーナリスト会議（JJC）などが法案の提出阻止を呼びかけています。

2013年8月28日(水)

介護保険  
利用料上げ来月議論  
厚労省  
社保審部会の日程提示

社会保障審議会（厚生労働相の諮問機関）の介護保険部会は28日、社会保障制度改革国民会議の最終報告書を受けて、介護保険制度の大改悪を具体化する議論を開始しました。安倍政権は同部会でのとりまとめを経て、来年の通常国会に法案を提出し、2015年4月から制度改悪を実施する計画です。

厚労省は今後の同部会のスケジュールを提示しました。9月中旬に▽要支援者を介護保険給付の対象から外す▽施設から要介護1、2の人をしめだす▽一定以上の所得者の利用料を引き上げる▽施設の居住費・食費を軽減する補給給付を縮小する―ことなどを議論します。その上で11月27日には議論のとりまとめを行う予定です。

委員からは、「国民会議の議論は」介護分野における議論が非常に短く、多くの高齢者の生活に影響を与える介護施策を方向づけるには不十分」（淑徳大学の結城康博教授）、「消費税増税をする一方で、負担引き上げとサービス抑制をすることは道理にも合わない内容だ」（認知症の人と家族の会の勝田登志子副代表理事）などの意見がでました。一方、国民会議の報告書の評価する意見も続出しまし

2013年8月29日(木)

2013, 9, 3 NO. 621

## 日本共産党

磯城郡議員団だより

芝和也 Eメール info@k-shiba.jp  
川西町結崎 862-7 0745-43-2415  
吉田容工 Eメール katunori\_yosida@ybb.ne.jp  
田原本町大木 113-5 090-5257-4446  
森良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp  
田原本町鍵 281-1 0744-33-8570  
(事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp  
三宅町屏風 440-5 0745-43-2661

日本共産党発行  
しんぶん 赤旗  
日刊●月 3,400円  
日曜版●月 800円

## 九月

今週から九月ですね。とにかく、八月が異常に暑かっただけに、秋の訪れが待ち望まれています。長期予報では秋も気温は平年よりも高めで経過との事です。これは、喜ぶべきか否かどうなんでしょうか？夏バテはこれからです。どうぞご自愛ください。

九月は、町議会が開かれます。予定では、来週十一日の水曜日開会で十日間の日程が組まれています。また、今月末には、現在建設中の小学校の第二期工事の請負契約締結に向けた臨時議会も予定されています。そして、これを相前後して、幼稚園や中学校の運動会等、秋の一連の行事が取り組まれます。

後最初の議会に当たります。議案は、平成二十四年度の決算が中心です。コスモス号が走り出し、子ども医療費助成の対象年齢の引き上げや子供がいがんワクチン、高齢者の肺炎球菌ワクチン等々、暮らし応援策が拡がって来ているのが、この間の取り組みの特徴です。

新町長もこれらの充実発展を展望してはる事です。町の取り組みが皆さんの思いと結びつき、身近で役立つ自治体として、より一層発展するよう、議論を深めるべく頑張ります。

どうぞ、日ごろ感じておられる問題等々、忌憚なくお聞かせ下さい。

川西町議会  
議員 芝 和也



## 格差と貧困の連鎖をたつ政治

経済協力開発機構（OECD）は、二〇一一年「OECD諸国内の所得格差は拡大しており、格差と貧困は拡大している」と報告しています。

その中で、日本では、所得の少ない層の所得が二〇年前と比べて下がっている。OECD二七国の中で、イスラエルと日本だけです。政府が賃金を上げる対策をとることが求められています。

それとともに、格差と貧困の連鎖をたつために、所得の少ない層の子ども達に学習や技術の習得等の機会を提供する施策が求められる。国の政治においても、町政において

も積極的な取組が求められている。

ところが、田原本町長は「完全な平等・公平な社会などありえない。顔も身体も性格も能力も一人一人違う」と広報にかれました。平等や公平は、クローン人間を目指すことではありません。

性別、社会的身分、門地により、政治的、経済的または社会的関係において、差別されないこと、差別されないこと、町政においても、十分に配慮されることを求めるものです。

田原本議会議員  
吉田容工



## 夏のお客さま

今年の夏は、本当に暑かったですね。「一雨ほしいな」と思う気持ちに反して、日本列島の各地では甚大な被害が出る程の集中豪雨。「やっぱり変だよ、地球君！」と言いたくなりますね。

それでも季節は着実に移り変わっているようです。この夏、我が家には大勢の来客がありました。

まず二匹の小さな金魚。水槽が無いので雨水を溜めていた大き目の壺に小石を敷いて飼う事にしました。金魚だけでは広すぎる壺なので、孫と近くの溝川から数匹のめだかとタニシを獲って同居させました。始めはためらっていためだかも慣れてくれば金魚の餌にパクつい

ています。暫らくして今度は別の孫から「ばーちゃん、九州に行ってる間、預かってー」と朝顔とカブト虫の御夫婦。水やり、餌やり、観察記録と毎日中々忙しいところ。ところが孫が引き取りに来る前日、カブト虫が二匹とも死んでしまい、「困ったな」と思ったもの。調べてみたら、「メスは夏の終わりごろ卵を産み、死ぬ」との事。翌日、孫から電話あり「卵が9個と幼虫が7個あったよ、ばーちゃん有難う！」の言葉のほっとしました。

田原本議会議員  
森 良子



## 値上げラッシュと国民生活

9月から食料品などの値上げラッシュという見出しが目につきました。冷凍食品が7〜10%、ワインが2〜9%、ジャム3〜8%、調味料5〜7%、ハム・ソーセージ平均8%、電気代12円から451円にガス26円から37円に。輸入品が為替相場の円安基調の中で原材料価格の高騰が続いていることを受けての値上げラッシュになる

と新聞は報道しています。安倍政権は物価を5%引き上げることが掲げられ、消費税を来年の4月から8%に引き上げるための「集中心点検査会」

池田年夫



の名のもとに広く国民から声を聴くポーズをとっています。

その結果意見を述べた60人のうち7割を超えてる43人が来年4月からと逆の世論誘導をしているのではないのでしょうか。

景気回復は財界と富裕層、投資家だけが利益を上げ、圧倒的な国民の懐は冷えたままになり、生活は一層苦しくなるばかりです。安倍政権への怒りの声を上げようではありませんか。

三宅町  
池田年夫